

OB会 だより



定年後の人生・・・

新しい道に挑戦し、輝いている仲間にはたくさんいる
そのひとり 福田 紀子さん 「絵画」に挑戦だ。

中学生の時から、いつか絵を描きたいと思いながら 70 歳になってようやく「鯨井塾」で実現しました。が、眼も耳も老化し、若い時と違うのに驚いています。

先生いわく「自分が何を訴えたいか、何を表現したいか。たとえば、ゴッホ、マチス、ピカソなどの絵をみて勉強しなさい」・・・ 私にはまるで哲学の勉強に通っているかのように。忙しい合間をぬって、週 2 時間 12 人の仲間と描いていますが、かなり欠席の多い生徒です。描いている間のピン！ とはりつめた静かな空気と、筆の音だけのする緊張空間、終わって講評をする時が大好きなひとときです。最高齢は 94 歳の女性。私はほんのかけ出しの一人で描きはじめて 3 年半。年に 3 回、アンデパンダン展、大宮平和美術展、見沼熟展に出展しています。(福田さんは看護師として川口診療所に勤務していました)



新年のごあいさつ

埼玉民医連退職者の会
会長 富田孝博

会員の皆さんおめでとうございます。
今年も昨年に増して、きずなを強め、元気にすごしていきましょう。

昨年末には秘密保護法の強行採決があり、
沖縄の辺野古埋め立てを知事が承認するし、

何となんと自・公政権はやりたい放題で安倍ノミクス「アホのミクス」許せません。

私個人的には「中国・韓国」への旅行もしたいのに、靖国参拝で益々遠のいて残念です。
我々には先がそんなにあるわけではありません。そんな中でも有意義な今年にしていこう
ではありませんか。

さて、皆さん今年の「OB会総会」は2月開催でご案内しています。

当日は恒例の「私の趣味・みんなの作品展」も更に内容を工夫し、準備しているところ
です。会員それぞれが、日頃楽しんでいる趣味などを持ち寄り、みんなで一緒に交流しま
しょう。懐かしい顔もたくさんそろう中で、楽しい総会になるよう多くの皆さんの参加を
お待ちしております。今年もよろしくお願いたします。

埼玉民医連退職者の会

第24回総会のご案内

日時：2月11日（火・祭日）10時～3時
会場：医療生協さいたま本部・第一会議室

当日の予定

I部・「総会」午前10時～12時
みんなの作品展 観賞
II部・親睦交流会 13時～15時

参加費・・・2,000円

「作品展」は、日頃楽しんで作っている趣味・お楽しみを
持ち寄り、交流しましょう。何でもOKです。写真・絵画
書・手芸・採れたて野菜・草花・盆栽・・・



新入会員紹介

よろしくお願いします



♪♪ 深田 澄子 さん

めでたく還暦を迎え、退職者の会のお仲間に使させていただきました。
よろしくお願い致します。

秩父の山奥で鹿や猿、イノシシに日々悩まされながら暮らしています。何を作っても食べられてしまいます。ミカンの木や南天までもが葉や幹をかじられ枯れてしまいました。こんな日常ですが、もうしばらく熊谷生協病院医通うつもりです。

♪♪ 原島 清 さん

” 新年あけましておめでとうございます。

定年退職となり「退職者の会」に入会させていただくことになりました原島清です。とはいえ、まだ「ふじみ野ケアセンター」に継続して勤務しています。2011年10月に開設した小規模多機能事業所は医療生協さいたまで初めて、ふじみ野市でも初めての事業であり、その経営を安定的なものにするまでもう少し頑張る所存であります。

これまで「退職者の会」のニュースが届き拝見するたび、会員のみなさんの元気な活動を見て、早く自分もあやかりたいものと思っています。これからお会いする機会が増えると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

会員通信から

私の近況



** 寺島 萬里子 **

87歳になりました。

体調は良いのですが脳の老化は避けがたく、MRIで「年齢相当の萎縮」と言われました。写真とは離れ今の表現手段は主に短歌です。

この齡でふたたび日本が ^{イクサ} 戦争する日が来るとは 思わざりしよ
先短き者なれば 今こそ叫ぶべし 命の限り戦争反対

** 富田 厚子 **

前号で、opしたことを書きましたら、久しぶりにお会いした方から、「身体の調子はどう？」と挨拶され、病気だったんだと遠い過去のように思い出しているこの頃です。おかげさまで元気になりました。でもop後、体力は相当落ちた事は実感せざるを得ないです。体力・気力を鼓舞して先生に「旅行どうか？」と尋ね、ネパールに行ってきました。もちろんトレッキングではなく、ヒマラヤの山々を見る旅です。

垣間見たカトマンズの市民のくらしは、貧しく不衛生な環境は想像以上でした。ちょうどお祭りで通りや家々はきれいに飾られ、子供たちがあちらこちらで輪になって踊っていました。そこには私の子供の頃の風景がありました。また総選挙の最中でもあり、所々で演説がやられていました。議会政治になったのは2006年だということです。どうやって変わっていくのだろうか・・・

皆さん、励ましありがとうございました。健診は受けましょうね。

**** 山本 康男 ****

今年の箱根駅伝は、旅友で相棒の母校、法政大学の応援に箱根に来ています。ゴール地点でネックウォーマーやパンやミカンや餅などいっぱいもらいながら、ゴールから1KMくらい手前の応援スペースで応援、全選手を迎えました。

これから、南伊豆の日本渚100選に選ばれた、弓ヶ浜に宿をとり一泊して帰ります。



**** 山形 文子 ****

埼玉でも大きな地震がありましたね。被害はなかったでしょうか？

1カ月があっという間にすぎさり、今年も終わりに近づいてきました。

あいかわらず忙しく過ごしていますが、元気です。60代に入り体づくりが課題です。大勢の皆さんの近況、ニュース、楽しみです。



**** 梅原 恭子 ****

ごぶさたしております。とりあえず元気でおりますが、適切な名詞が出てこなかったり、忘れ物が多くなったりと、日常生活ではいろいろ支障をきたしていますが、それでも週2回のパート勤務を続けています。最近、足立区のボランティア連合会の広報の仕事に関わることとなり、企画や原稿依頼、発送となれない仕事です。OB会だよりの質の高さをあらためて感じています。読まれないことにはどんなに気張ってもダメですが、その点、OB会だよりの内容は勿論のこと、写真の多さや高齢者仕様の活字の大きさなど工夫がマンサイです。編集にたずさわっておられる皆様にごうぞろしくお伝えください。

早くもインフルエンザ予注をすませて冬に備えている梅原でした。

**** 阿部 テイ ****

86歳になる一人暮らしの母親が私の退職後の6年間、冬の間は我が家に来ていましたが、9月に倒れて入院、老健入所となってしまいました。

気丈だと思っていた母も病気と歳には勝てず、私が時々母の顔や、空き家になった実家を見に行っています。今「親の家をかたづける」や「平穏死のすすめ」の本を読みながら、自分の老後にも向き合っているこの頃です。

＊＊ 肥田 舜太郎 ＊＊

一昨年、体調を崩して活動を休止、昨年は月に2～3度、車と車いすで取材や講演を受けてきました。最近少しなら歩けるようになり、車いすを手放しています。

希望は2015年、被爆70周年まで生きて広島の地に立ちたいこと。その時は98歳になりますが、なんとか実現したいと念願しています。

全国OB会の様子も含め、会員の動向を知らせていただき、懐かしいのと心強いことでたいへん励まされています。

＊＊ 石丸 乾二 ＊＊

大成功でした！

～さよなら原発埼玉県民集会～

11月24日、小春日和の暖かな日曜日、肥田舜太郎先生、鎌田慧氏などの講演があって、北浦和公園には約3500人が集まりました。見渡せば賛同して駆けつけた労働組合は連合、全労連、全労協



(国労など)傘下の組合が並ぶのも久しぶりの感じでした。

パレードという名のデモ行進も、生協連の隊列はコープみらい、医療生協さいたまの他、生協パルシステム埼玉、生活クラブ生協もならんで歩く姿は、何とも感慨深いものがありました。

民医連退職者の会全国連絡会

第7回経験交流集会



民医連退職者の会全国連絡会第7回経験交流集会は、10月22～23日宮城県・松島町で開かれ、「忘れないで！東日本大震災と原発大被害」をテーマに20都道府県から120名を超える参加がありました。



埼玉からは小嶋美智子さん、山口昭子さん、鈴木則子さん(仙台在住)の3名の代表と、全国幹事の小川祥江さんが参加しました。一日目は特別講演、二日目はバスに乗り被災地訪問の日程で行われました。(集会の様子は「全国連絡会ニュース87号」をご覧ください。)

久しぶりの集會に
思わず “全国の仲間は一つだ！”

山口 昭子

退職して初めて参加させていただきました。在職時以来、久しぶりの集會に大変なつかしい雰囲気を感じ、「ああ、全国の仲間は一つだ」と思わず心がはずみました。

一日目の特別講演「東日本大震災・宮城民医連の救援活動～その教訓と復興の課題」 宮城厚生協会・水戸部理事長の講演と、「地震・津波・原発震災から3年目～福島を今を訴える」と題した浜通り医療生協・伊東理事長の講演は胸をうたれました。じっとしていいの！と。もっと多くの人に聞いてもらいたかった。

二日目の現地視察 松島湾船上見学と東松島市～鳴瀬・野蒜地区を見て、津波の恐ろしさ、松島の小さな島々が大津波に曝されたが、それが海岸への勢いを少なくしたとも言われる話を船上で聞いた。海も丘の被害もまだまだ復興には時間がかかる。また、福島の原発震災の被害は極めて広範囲で、放射能問題は2年以上経っているのに「日本史上最大にして最悪の公害」の話は、改めて『憲法を守る世界的な運動とも重なる』とし、原発問題住民運動の先頭にたって活動されている先生の話、そして宮城民医連の先生の講演、夜の交流と、参加した意義を強く感じました

よい経験と たくさんの学びを
いただきました

鈴木 則子

このたびは宮城県に住んで居ながら、埼玉代表として参加させていただきました。

初めて全国退職者交流集會に参加しましたが、よい経験とたくさんの学び、思い出を作ってくださいありがとうございました。

二人の先生の講演は、胸にストーンとおちて、今後の歩み方の指針として教えられました。交流会では和太鼓の響きも素晴らしかったが、90歳を超える方の発言や歌には元気をもらいました。全体として、各自がそれぞれ置かれた場所で、生命を守るため心をひとつにして頑張り続けなければならないと思いました。

「原発震災」は日本史上、最大にして最悪
無力感に胸が痛く

小嶋 美智子

“忘れないで！東日本大震災と原発大被害”が被災地宮城県・松島で開催された。全国から129名が参加し、埼玉から3名参加した。

この1年に全国で39名の方が亡くなられたと報告黙祷の後、特別講演Ⅰ水戸部秀利先生の「宮城民医連の救援活動 その教訓と復興の課題」は、救援活動をした中で、特に想定外大震災での医療活動に職員が「もえつきてしまうこと」に危機感を感じたこと、職員のアメニティ確保～食事・休憩の場、メンタルケアなどへの配慮、コントロールする人の配置

が大事になってくるとして、救援活動への「課題」「まとめ」「教訓」は貴重な経験からの提案は大切なことと受け止めました。

特別講演Ⅱは、伊藤達也先生の「原発震災から2年半、福島いま」は、「原発震災」は日本史上、最大にして最悪の公害となっているとして、地震を引き金にして発生した「原発震災」となったのは世界で初めてであり、この過酷な事故による福島県民の被害の深さを知り、私はそれを伝えきれないもどかしさを感じていると話された。

事故前の環境に戻るには、世紀を超える時間が必要とも。無力感に胸が痛くなりました。



埼玉からの参加者4人

**「何ができるのか」
考えながら行動を**

小川 祥江

あの日から2年半、復興の兆しが見えはじめたとはいえ、その傷跡はあまりに深く、被災地における苦悩と困難は今もなお続いています。第7回経験交流集会は、1日目の特別講演、2日目の現地訪問などすべてが今回のテーマ「忘れないで！ 東日本大震災と原発大被害」に貫かれた内容の深いものでした。

被災地を訪ねた時でした。津波が押し寄せてきたその川の土手に立ち、「黒い壁のような波が一瞬のうちに住民や家、街をのみこんでしまった」「民医連の介護施設でも職員や利用者さんが犠牲に」など現地ガイドの説明。何も無い広い野原、跡形もない街の姿を前に言葉もありませんでした。

私たちは7月、埼玉の会として福島を訪ねました。全町避難指示で無人の街と化した浪江町や漁船や車、瓦礫の山が放置されていた光景と重なり「原発はいらぬ」の思いをいっそう強くしました。これからも「何ができるのか」考え行動していきたいと思いました。「原発をなくす運動」は「核兵器を廃止する運動」であり、「憲法を守り、生かす運動」と語った講師の言葉を胸に刻みながら。

第一世代との懇談会

熊谷の大久保忠一さんを訪ねて



OB会結成第一世代との懇談という企画で、12月9日、14名で熊谷に大久保さんを訪ね、「藍屋」で食事を楽しみながら、退職者の会結成の頃の話をお聞きしました。

荒井光明さんの手書きによる「OB会結成準備会速報」や 2011年に退職者の会が発行した「20年のあゆみ」にもみるように、埼玉民医連退職者の会は1991年1月14日、北浦和の正直屋(いまはもうありません)で会員28名、総会参加者14名で結成されました。

当時の世話人であった方々は、大島慶一郎先生をはじめ多くの方が亡くなっておられます。大久保さんは'85年5月65歳で退職され、現在93歳、肥田舜太郎先生につづく高齢になりましたが、とてもお元気で、カメラやパソコンを楽しんでいます。

お話の要旨

* 東京民医連退職者の会の代表である増田峯夫さんの呼びかけを受けた荒井光明さんから相談があって、「埼玉でもつくるべえ」と、理事や県連によく出入りしていた人たち9名で準備会を立ち上げました。

* 一生懸命作った呼びかけ文ですが、あんまり「入りたいな」と思うようなものではなかったかもしれません。今思えば大物二人をトップにおいて、入会は15年以上の勤続者とか、枠がせまかったなあーと。

地域で原水協や年金者組合、前進座後援会、選挙活動などに明け暮れ、会員拡大ということはあまり頭にありませんでした。'04年ころまではずっと30数名の会員でした。私のいたらなかったところを、櫻庭さんや若い人たちが入ってきて今日のOB会になったことを感謝しています。ベトナム、韓国、沖縄、台湾とOB会らしい楽しい旅行もできました。



* これからのOB会に望むことは、高齢でも参加できる企画があったらいいな。気軽に参加できるものがあったらみなさんといっしょに行きたいです。

OB会の活動を撮ったアルバムも100冊くらいありますから、私がいなくなってもいろいろ振りかえることができるでしょう。

今日のお話を聞いて、創立時の皆さんがだんだん少なくなっているなかで、これまでの歴史を継承し、今後につなげていながらOB会の新しい発展をめざしていきたいと思いました。

最後に石丸乾二さんが昨日買ったばかりのカメラと三脚を持ってきて、全員で集合写真を撮りましたが、なかなか手間取って、「あー」とか「もうー」とか連発ののち、ようやく笑顔でシャッターア落ちました。

(仲村敬子)

埼玉民医連創立 60 周年を祝うつどい

現役とOB会員が一堂に会して



埼玉民医連創立 60 周年を祝うつどいが、13 年 12 月 22 日 医療生協さいたま本部・ふれあい会館で行われました。OB会の会員も招待をいただき 25 名が参加しました。

1953 年の創立に参加された肥田舜太郎先生、高橋昭雄先生、寺島萬里子先生、権田圭助さんや田代健太郎OB会元会長の元気なお顔もそろいました。

今活躍中の現役のみなさんと私たちが一堂に会し、共有の場をもてたのはとても貴重なことで、これからの力になると感じました。

二次会には萬里子先生、権田さんをはじめ、19 名が参加、今日のつどいの感想や近況を語り合い、盛りあがった交流会になりました。



二次会もにぎやかに



埼玉民医連の創設に参加、60 周年のつどいにも参加された 4 人のみなさん



現役もOB会もひとつになって

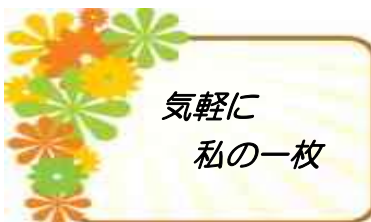


昨年10月、熱海に行ってきました。
小田原でおいしい昼食と小田原城見学、北条四代の城は大きかった。
翌日はMOA美術館へ、広大な敷地に国宝・重要文化財が山ほどです。
秀吉の黄金の茶室（復元第1号）はローソクの火でみるのがほんとうだそうな。下世話な話。金の厚みが気になりました。

高橋喜長さんも元気に参加して、MOA美術館では車いす、介添えの海孝塚さんが特別待遇で、面白い体験をした良いです。8名参加。

11月には武蔵野のその名残を色濃く残している平林寺をぶらり散歩に行ってきました。

小嶋 美智子



ぶなや、けやきの枝や幹の割れ目から、ヒガンバナが咲いている。通りがかりの人は口々に「ど根性ヒガンバナ？」と・・・

石丸 乾二

兄たちと

立石寺を巡って、銀山温泉に泊まり朝鉾山跡を散策、山形名刹慈恩寺から月山、湯殿山を通り、関越道から帰路についています。

各地の紅葉を満喫しながら、楽しく有意義な旅となりました。

山本 康男





日本とつながりの深いポルトガルを旅した。
ユーラシア大陸最西端のロカ岬、「ここに地終り、海
始まる」と刻まれた塔がたっていた。海は青く深く、
“最果ての地”を体感した。 松倉 徳子



かぶってご機嫌
500円のネパール帽を
300円で買って
インドの子供と
仲良くパチリ
富田 厚子



「自給自足」に挑戦
家庭菜園を
楽しんでいます

おいしいよ!

瀬川 則男

“紅葉に囲まれた世界”

古都鎌倉 ぶらりの旅

12月2日



北鎌倉駅 10時30分 15名が揃った。
何とびっくりなことに西の皆さんは前泊との事。真っ赤なモミジにイチョウの黄葉も彩りを添えて。“絵になるような紅葉”が各所で満喫できました。おいしい食事にお酒もすすんで、満足・満足の日でした。



鶴岡八幡宮



円覚寺山門をくぐる前に まずは記念撮影

鎌倉に

こんなきれいな花が



山茶花に蜂



水仙

あとがき

新年はいかがお迎えでしょうか。
OB会だよりは今年度 120号を迎えます。
皆さんからのたくさんの声や意見をいただきながら、少しでも元気の出る良い年へのお力になればと思っています。ご協力よろしく
お願いいたします。(よ)